

第 61 回東京心エコー図研究会
事前連絡会資料

平成 29 年 5 月 20 日（土）

13 : 30～14 : 00

目次

・ 本日の議題	3～4
・ 第60回 東京心エコー図研究会幹事会 議事録	5～8
・ 第60回 症例検討 投票用紙	9
・ 第60回 症例検討会 ベストイメージング	10
・ 会則	11～13
・ 会員一覧	14～16
・ 過去特別講演一覧	17～21
・ 当番幹事一覧	22～23

本日の議題

1) 第 60 回研究会の報告

- ① 第 60 回東京心エコー図研究会 世話人会議事録について
- ② 第 60 回東京心エコー図研究会 結果
- ③ 第 60 回東京心エコー図研究会 症例検討会 ベストイメージング投票結果報告

2) 第 61 回研究会について

- ① 症例検討会
- ② 症例検討会の抄録の扱い
- ③ 症例検討会投票のご依頼
- ④ 特別講演

3) 次回の研究会に関する確認

- ① 第 62 回開催予定日の確認
当番幹事：馬原 啓太郎先生（榊原記念病院）
会場：JR 東京総合病院（渋谷区）
日程：平成 29 年 11 月 18 日（土）
- ② 第 63 回開催予定日の確認
当番幹事：鈴木 健吾先生（聖マリアンナ医科大学）
会場：JR 東京総合病院（渋谷区）
日程候補：平成 30 年 5 月 12 日（土）19 日（土）26（土）

- 4) 第 64 回研究会 当番幹事・日程について
- 5) 研究会の運営の在り方について
- 6) 新会員推薦に関して
- 7) 今後の研究会運営について
 - ・ 研究会の開催案内について
 1. 日本心エコー図学会の H.P. (<http://www.jse.gr.jp/>)の「関連学会」のページに案内を掲載
 2. 東京心エコー図研究会ホームページ更新済み
 - ・ 学会単位申請について
 1. 日本超音波医学会にて専門医、検査士単位承認
 - ・ 学会後援の報告
 1. 日本心エコー図学会の後援を受けることとなった
- 8) メンバー登録に関して
- 9) 本会場座席について

第 60 回東京心エコー図研究会 幹事会 議事録

日 時 : 平成 28 年 11 月 19 日 (土) 13 : 00~13 : 30
場 所 : JR 東京総合病院 病棟 3 階 第三会議室
司 会 : 浅川 雅子 先生 (第 60 回当番幹事 JR 東京総合病院)
赤石 誠 先生 (代表幹事 東海大学医学部附属東京病院)

<議 題>

1) 第 60 回研究会の報告

- ④ 第 59 回東京心エコー図研究会 世話人会議事録について
- ⑤ 第 59 回東京心エコー図研究会 結果
第 59 回は医師=71 名 臨床検査技師他=206 名の計 277 名の参加。
- ⑥ 第 59 回東京心エコー図研究会 症例検討会 ベストイメージング投票結果報告
北里大学 循環器内科 前川恵美先生の「腰痛後に発熱をきたした僧帽弁輪石灰化の一例」ベストイメージングとして表彰。

2) 第 60 回研究会について

- ① 症例検討会
4 施設より演題を応募。発表施設はプログラムを参照。
- ② 症例検討会の抄録の扱い
例年通り、症例検討会後の休憩時の配布とする。
- ③ 症例検討会投票のご依頼
ベストイメージングの発表と表彰を特別講演の終了後に行う。
集計方法については、症例検討 4 題目終了後の休憩時間に回収ボックスを入口
付近に配置。結果に関しましては、特別講演終了後に発表。
- ④ 特別講演
特別講演として、心臓血管研究所附属病院 心臓血管外科 部長 國原 孝 先生に「大動脈弁形成術における心エコーの役割」の演題にてご講演をいただく。

3) 次回以降の研究会に関する確認および決定事項

①第 61 回開催予定日の確認

当番幹事：新沼 廣幸先生（聖路加国際病院）

会場：JR 東京総合病院

日程：平成 29 年 5 月 20 日（土）

②第 62 回開催予定日の確認

当番幹事：馬原 啓太郎先生（榊原記念病院）

会場：JR 東京総合病院

日程：平成 29 年 11 月 18 日（土）

4) 幹事会 検討事項

①第 63 回研究会 当番幹事・日程の報告

前回の幹事会で新たに会員に承認された下記先生の中から選出

鈴木健吾先生 1997 年卒

小坂橋俊美先生 1999 年卒

有田秀紀先生 2000 年卒

大野洋平先生 2002 年卒

⇒幹事会にて、卒年の順番から、鈴木健吾先生（聖マリアンナ大学）を第 63 回当番幹事に選出した。

日程は未定。

②JR 東京総合病院での開催について

今回、JR 東京総合病院の講堂にて研究会を開催。本研究会を JR 東京総合病院循環器内科の臨床研修の一環とすることで会場が使用できる。

各種単位を必要としない JR 東日本関係スタッフについては、参加費を無料とする。

次回以降の開催時には、病院規定により有料となる可能性が高い。

詳細分かり次第、浅川先生より連絡いただく。

③今後の研究会運営について

- ・研究会の開催案内について

日本心エコー図学会の H.P.（<http://www.jse.gr.jp/>）の「関連学会」のページに案内を掲載。案内状も 10 月の下旬に一斉配信を行った。

- 東京心エコー図研究会ホームページ運営について
今後のホームページ管理費については協賛費にて運営。
アクテリオン、GE ヘルスケア・ジャパンから協賛を受けることとなった。
- 学会単位申請について
日本超音波医学会にて専門医、検査士単位を承認。
- 学会後援の報告
日本心エコー図学会の後援を受けることとなった。

④超音波血流研究会との統合の件

- 超音波血流研究会の代表世話人である竹中 克先生より東京心エコー図研究会との統合の申し出があり、幹事会にて審議を行った結果、超音波血流研究会からの条件については以下の通りである。
 1. 2017 年 1 月 1 日をもって超音波血流研究会を東京心エコー図研究会に合併させていただくこと。
 2. 下記の超音波血流研究会の役員を新たに東京心エコー図研究会の会員に加え、会員構成を医(M)、工(E)、技(T)のバランスがとれたものを目指し、三者の連携と切磋琢磨を推進していただくこと。常任幹事会のメンバー構成にもできるだけのご配慮をいただくこと。

顧問

伊東紘一 常陸大宮済生会病院名誉院長、陸前高田仮設診療所
菅原基晃 姫路獨協大学

世話人

里見元義 里見クリニック
椎名 毅 京都大学大学院
谷口信行 自治医科大学
仁木清美 東京都市大学
松村 誠 埼玉医科大学
遠田栄一 三井記念病院
戸出浩之 群馬県立心臓血管センター
種村 正 心臓血管研究所
小形幸代 自治医科大学
市田 勝 自治医科大学
石津智子 筑波大学

第 60 回 東京心エコー図研究会 投票用紙		
	演題名/施設名	投票欄
1	経胸壁 3D 心エコーの有用性：左室心室瘤と隣接する仮性腱索の関係を描出しえた一例	
	国際医療福祉大学三田病院 心臓血管センター 大橋成孝先生	
2	広範囲前壁中隔梗塞による心尖部血栓を認めた症例	
	埼玉病院 臨床検査科 高橋美帆先生	
3	心エコー図を含む画像評価からは正確な基礎疾患名に到達し得なかった拡張型心筋症様病態の一例	
	北里大学北里研究所病院 循環器内科 石田三和先生	
4	労作時息切れで来院した若年女性の一例	
	JR 東京総合病院 生理機能検査室 鷺谷宗秋先生	

投票の結果、下記演題を「ベストイメージング」とした。

労作時息切れで来院した若年女性の一例

J R 東京総合病院

循環器内科 浅川雅子、山下皓正、川上拓也、村岡洋典、碓井 伸一、杉下和郎、安喰恒輔

心臓血管外科 鈴木登志彦、村田将光、鎌田聡

生理機能検査室 鷺谷宗秋 大竹睦美、菅原佑

【症例】 30 歳代女性

【主訴】 息切れ

【現病歴】 生来健康、半年程前から労作時息切れで、普段行っていたランニングができなくなった。人間ドックでは心臓拡大の指摘のみ。精査目的に当科紹介受診。

【身体所見】 血圧 102/65、下腿浮腫なし、心尖部収縮期雑音 (Levine III/VI)、過剰心音聴取。

【検査所見】 心電図：心拍数 106/分、左房負荷、胸部レントゲン：CTR54%、右 2 弓凸、血液検査：AST 52IU/l, ALT 68 IU/l, LD 238IU/l, CRP1.87mg/dl, BNP 947pg/ml。心エコー図：Dd48mm/Ds33mm、EF59%、LA50mm、moderate MR、moderate TR、RVSP 80mmHg、拡張期に左房から僧帽弁口へ逸脱する 40x60mm の辺縁不整な腫瘤を認めた。左房粘液腫と診断し、嵌頓の危険性が高いことから緊急手術となった。

【手術所見】 左房腫瘤摘出＋三尖弁縫縮術施行、左房内に心房中隔に付着する辺縁不整な腫瘤を摘出。僧帽弁器質的变化なし。

【病理所見】 腫瘤は粘液質な間質で 55x50x30mm、心房付着部は 15x12mm 横紋筋組織。

【術後経過】 術前は腫瘍による左室流入障害のため右心不全を合併。術後 1 週間の心エコーでは、Dd55mm、EF58%、右心拡大は残存し、左房後壁にむかう中道度僧帽弁逆流を認めた。RVSP 48mmHg と改善に乏しく、術後 2 週間で RVSP30mmHg 以下となったが、MR は吸い込み血流を伴い、収縮期心雑音も聴取した。術後 3 か月、LVDd55mm だが軽度 MR と改善した。

【考察】 本症例は、過去に心雑音の指摘がないことから、可動性の高い粘液腫による僧帽弁の機械的損傷により二次的逆流が発生した可能性が高い。

左房粘液腫では、機能的僧帽弁狭窄を示すが僧帽弁逆流は稀と報告されている。逆流を起こす機序は、wrecking ball effect = 腫瘍が僧帽弁の閉鎖を妨害し、弁障害や腱索断裂などを合併するためと考えられ、また僧帽弁を超えて逸脱する腫瘤の場合は、弁輪拡大と弁逸脱が成因と考えられている。MR の重症度診断は術中腫瘍摘出後の判断が重要で、腫瘤の形態によっては逆流を過小評価しやすく、術前に高度と診断できる例は少ないと報告されている。本症例では僧帽弁修復は施行せず、術後 MR が残存したかに思えたが、定期的経過観察により、左房が縮小してきたことが MR 改善の要因と診断できた。

【結語】左房粘液腫の診断時には、僧帽弁逆流過小評価と遺残に留意するだけでなく、弁修復術の要否判断は慎重に行う必要がある。

東京心エコー図研究会 会則

第1条(名称)

本会は、『東京心エコー図研究会』と称する。

第2条 (目的)

本研究会は、心エコー法による診断および治療の発展に貢献することを目的とする。

第3条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 年2回の研究発表のための研究会を行う。
2. その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

第4条 (会員)

本会の会員は、本会の趣旨に賛同する医師及び検査技師、その他の 医療従事者によって構成される。会員は、幹事会に当番幹事の推薦を行なうことができる。

第5条 (役員)

本会には、次の役員を置く。

常任幹事:10 数名(幹事は会員の中から選出される)。

代表幹事:幹事の中から選出され、本会の責任者とする。

当番幹事:会員の中から1名選出される。

会計:代表幹事が幹事の中から1名指名する。

監査:代表幹事が幹事の中から1名指名する。

第6条 (役員の仕事)

本会の役員は次の職務を行う。

1. 代表幹事は幹事会を組織する。
2. 当番幹事は当番回の会運営(一般演題の募集・選定、特別講演の演者選定、座長、開催日時決定)を行う。当番幹事の任期は、当番回が終了までとする。

3. 幹事会は会員の推薦を受けて、新会員を選出する。
4. 幹事会は、会員の推薦を受けて、当番幹事を選出する。
5. 幹事会は、この会則に定める事項のほか本会の維持と運営に関する重要事項を審議する。

第7条（会則改定）

本会則は幹事会の協議により、適宜改正できるものとする。

第8条（役員会）

幹事会は本会の議決機関である。

第9条（会費及び会計）

本会の経費は会費・その他の収入を以て当てる。

1. 会費:会員は年 2000 円とし、参加費より充当する。
2. 研究会の参加費 会員 1000 円、会員以外 研究会ごとに 1000 円
3. 会費の変更は幹事会の承認を受ける。

会計年度は4月1日から翌年3月末までとし、翌年度初回幹事会にて会計報告を行う。

第10条（任期）

代表幹事、常任幹事の任期は 65 歳になった最初の幹事会までとする。

第11条（役員資格の喪失）

役員は以下のいずれかに該当する場合には幹事会の過半数の議決により資格を喪失する。

1. 心身の障害の為、職務の執行に耐えないと認められた場合。
2. 特別の理由無く、幹事会を4回以上継続して欠席した場合。
3. 本人により辞退の申し出があった場合。
4. 東京心エコー図研究会の名誉を著しく毀損したり、東京心エコー図研究会の目的に反する行為をしたときなど幹事会がふさわしくないと判断した時、代表幹事が提言し、幹事会で過半数の賛成があった場合に、除名できる。

第12条（事務局）

本会の事務局は、以下に置く。

埼玉医科大学国際医療センター

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 3

電話:042-984-4111(番号案内)

第13条 (付則)

本会則は平成 18 年 11 月 25 日より改訂し、施行する。

本会則は平成 20 年 5 月 17 日より改訂し、施行する。

本会則は平成 21 年 5 月 30 日より改訂し、施行する。

本会則は平成 22 年 4 月 1 日より改訂し、施行する。

本会則は平成 27 年 11 月 21 日より改訂し、施行する。

役員

特別顧問	坂本 二哉	半蔵門病院	
顧問	中村 憲司	榑原記念クリニック	
	林 輝美	医療法人財団聖蹟会 埼玉県中央病院	
	山口 徹	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	
	平井 寛則	医療法人山内龍馬財団山内病院	
	羽田 勝征	榑原記念クリニック	
	鄭 忠和	和温療法研究所	
	石光 敏行	茨城県メディカルセンター	
	澤田 準	公益財団法人心臓血管研究所附属病院	
	代表幹事	赤石 誠	東海大学医学部附属東京病院
	常任幹事	芦原 京美	東京女子医科大学
岩永 史郎		埼玉医科大学国際医療センター	
宇野 漢成		東京大学大学院医学系研究科	
絹川 弘一郎		富山大学	
鈴木 真事		東邦大学医療センター大橋病院	
瀬尾 由広		筑波大学医学医療系	
大門 雅夫		東京大学医学部附属病院	
富松 宏文		東京女子医科大学	
林田 健太郎		慶應義塾大学医学部	
山下 武志		公益財団法人 心臓血管研究所	
会計	宇野 漢成	東京大学大学院医学系研究科	
	監査 石塚 尚子	東京女子医科大学附属成人医学センター	

(敬称略)

会員

赤石 誠	東海大学医学部附属東京病院
浅川 雅子	JR 東京総合病院 循環器内科
芦原 京美	東京女子医科大学 循環器内科
有馬 秀紀	都医療公社（旧都立荏原病院）荏原病院 検査科
石塚 尚子	東京女子医科大学附属成人医学センター 循環器科
泉 佑樹	日本医科大学医学部 循環器内科
市田 勝	自治医科大学循環器内科
岩永 史郎	埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科
上田 宏昭	等々力診療所 循環器内科
宇野 漢成	東京大学大学院医学系研究科 コンピューター画像診断学/予防医学講座
大野 洋平	東海大学医学部 循環器内科
小形 幸代	自治医科大学循環器内科
笠巻 祐二	日本大学医学部内科学系総合内科総合診療医学分野
金田 智	東京都済生会中央病院 放射線科
茅野 博行	昭和大学病院 循環器内科
河合 祥雄	順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科
川井 真	東京慈恵会医科大学 循環器内科
川滝 元良	神奈川県立こども医療センター 周産期医療部門新生児科
絹川 弘一郎	富山大学 第二内科
喜納 峰子	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科
小坂橋俊美	北里大学医学部 循環器内科
小林さゆき	独協医科大学越谷病院 循環器内科
佐伯 文彦	東芝ヒューマンアセットサービス株式会社 産業保健業務支援部 本社保健センター
坂田 好美	杏林大学医学部 第二内科
椎名 明	椎名内科クリニック
芝田 貴裕	東京慈恵会医科大学附属第三病院 循環器内科
鈴木 真事	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 臨床検査部
瀬尾 由広	筑波大学医学医療系
関根 泰	君津中央病院 循環器科
大門 雅夫	東京大学医学部附属病院 循環器内科
高橋 健	順天堂大学医学部附属順天堂医院 小児科
竹中 克	東京大学医学部附属病院 検査部
田中 信大	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科

種村 正	心臓血管研究所臨床検査部
田村 徹太郎	日野自動車 循環器内科
戸出 浩之	群馬県立心臓血管センター 技術部
富松 宏文	東京女子医科大学 循環器小児科
中島 啓喜	社会福祉法人 三井記念病院 循環器内科
長田 尚彦	聖マリアンナ医科大学 循環器内科
新沼 廣幸	聖路加病院 循環器内科
仁木 清美	東京都市大学医用工学科
布田 伸一	東京女子医科大学東医療センター 内科
納富 雄一	けいゆう病院 循環器内科心血管画像センター
信岡 祐彦	聖マリアンナ医科大学 臨床検査部
林田 健太郎	慶應義塾大学医学部 循環器内科
原田 昌彦	東邦大学医療センター大森病院 臨床生理機能検査科
福田 延昭	高崎総合医療センター 循環器科
本間 博	日本医科大学附属病院 第一内科
松村 誠	埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科
馬原 啓太郎	榊原記念病院 循環器内科
宮崎 彰	千葉県循環器病センター 循環器科
村田 光繁	慶應義塾大学医学部_臨床検査医学
安 隆則	独協医科大学日光医療センター 循環器・腎臓診療チーム
山下 武志	公益財団法人 心臓血管研究所
横山 直之	帝京大学医学部附属病院 循環器科
渡邊 弘之	東京ベイ・浦安市川医療センター

(敬称略、五十音順)

過去特別講演一覧

第1回	1986/12/6	アロカ株式会社 東京慈恵会医科大学心臓外科 埼玉医科大学第一外科 東京大学第2内科	望月 剛 先生 宮沢 総介 先生 松村 誠 先生 羽田 勝征 先生	high PRF法の原理 high PRFH法の臨床経験
第2回	1987/7/12	東京大学第2内科 筑波大学臨床医学系内科	竹中 克 先生 石光 敏行 先生	パルスドップラー法、連続ドップラー法について カラードップラー法について
第3回	1987/12/5	自治医科大学循環器内科 東京慈恵会医科大学心臓外科 静岡県立こども病院循環器科	鈴木 修 先生 鈴木 茂 先生 斎藤 彰博 先生	心エコー診断の信頼性は万全か？
第4回	1988/4/10	東北大学抗酸菌研究所 神戸中央市民病院 香川医科大学 国立循環器病センター 心臓血管研究所附属病院 東京医科歯科大学第2内科	田中 元直 先生 吉川 純一 先生 千田 彰一 先生 宮武 邦夫 先生 高田 博之 先生 高元 俊彦 先生	心エコー法の問題点 2D、M-mode計測法と問題点 PD、CD法 その計測法と問題点 カラードップラー法の計測法（定量化）と問題点 心エコー図のコンピューター解析 心エコー法と組織性状
第5回	1988/12/10	山口大学第2内科 神戸中央市民病院 帝京大学市原病院麻酔科 公立昭和病院心臓血管外科	松崎 益徳 先生 吉田 清 先生 稲田 英一 先生 高本 真一 先生	外科検査における TEE 弁形成手術における TEE 麻酔管理における TEE 急性解離性大動脈瘤における TEE ～マインツ国際経食道心エコーシンポジウム報告
第6回	1989/5/13	慶應義塾大学医学部呼吸循環器内科 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所 鹿児島大学医学部リハビリテーション科	半田 俊之介 先生 里見 元義 先生 鄭 忠和 先生	カテ先ドップラー法による冠血流の評価 小児におけるドップラー法による冠血流の描出 ？ 記録無し
第7回	1989/12/9	横河ヒューレットパッカー(株) 東京医科歯科大学第2内科 名古屋大学第一内科 大阪大学医学部第一内科	菊田 憲二 先生 新田 政夫先生 岩瀬 正嗣先生 増山 理先生	カラードップラー法のピットホール 経食道心エコー図法による肺静脈血流の測定 肺静脈血流計測と左房機能 左室流入様式に及ぼす因子：超音波ドップラー法による検討
第8回	1990/5/12	富山医科薬科大学医学部第2内科 アロカ株式会社 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所	麻野井 英次先生 近藤 祐司先生 菅原 基晃先生	左室と動脈系の適合様式からみた心ポンプ機能の臨床的解析 心エコーの原理上の限界 新しい局所心筋機能解析法
第9回	1990/12/1	東芝医療機器事業部 香川医科大学	町田 薫先生 千田 彰一先生	末梢血管系の超音波診断の為に 超音波組織診断学の展望 —血管内エコー法、超音波顕微鏡の進歩—

第10回	1991/5/25	富士通研究所 東京女子医科大学付属日本心臓血圧研究所	村上 敬一先生 近藤 千里先生	心臓用超音波診断装置の分解能について：現状と将来 ー特にフォーカス、フレイムレート、ズーム機能等についてー MRIによる先天性心疾患の診断
第11回	1991/11/30	山口大学第2内科 埼玉医科大学第一外科	松崎 益徳先生 許 俊鋭先生	経食道エコー法の現状と問題点 動脈硬化病変の診断における経食道心エコー法の現状と問題点 経食道心エコー法の現状と問題点 ー特に小児に関してー
第12回	1992/5/30	日本大学第2内科 筑波大学臨床医学系内科	森内 正人先生 石光 敏行先生	経静脈心エコー法（実験的検討） マルチプレーン経食道心エコー図探触子の開発と心腔内心エコー図への応用
第13回	1992/11/21	埼玉医科大学第一外科 自治医科大学臨床病理学教室 日立メディコ(株)技術研究所	許 俊鋭先生 谷口 信行先生 佐藤 一弘先生	心臓の3次元表示の試み 心・血管系の3次元表示 超音波法による3次元表示について
第14回	1993/5/22	総合病院鹿児島生協病院小児科 横河ヒューレットパッカー(株)	西畠 信先生 木村 伸昭先生	心疾患の出生前診断と胎児循環動態評価の試み AQの基本原理
第15回	1994/6/4	東芝医療機器技術研究所 北海道大学医学部循環器内科	平山 信先生 三神 大世先生	組織ドップラー法による Wall Motion Imaging カラードップラー法における折り返し現象の臨床応用
第16回	1994/11/12	(株)グッドマン フクダ電子(株) 東邦大学医学部付属大橋病院第3内科	西村 政利先生 福田 光浩先生 出川 敏行先生	テーマ：血管内エコー法の臨床的有用性について 2) 血管内エコー法の基礎 機械走査型 電子走査型 2) 血管内エコー法の臨床
第17回	1995/5/20	千葉大学工学部情報工学科 藤田保健衛生大学医学部循環器内科 国立病院九州医療センター循環器センター	蜂屋 弘之先生 岩瀬 正嗣宣先生 小柳 左門先生	超音波による tissue characterizationー循環器領域への適用 心不全と心エコー 薬物負荷エコー：心筋 viability の評価を中心に
第18回	1995/11/18	ゲッツブラザーズ(株) 埼玉医科大学心臓病センター 北海道大学医学部循環器内科	中島 康博先生 松村 誠先生 三神 大世先生	3次元エコー：画像の取り込みと構築の方法 3次元エコーの臨床応用 3次元エコー：弁膜病変の評価と左室計測
第19回	1996/5/25	大阪大学医学部保健学科 神戸中央市民病院	別府 慎太郎先生 吉田 清先生	臨床から心エコー図に要求されること現況と将来の可能性 コントラスト心エコー図 経食道心エコー図
第20回	1996/11/30	埼玉医科大学第一外科 神戸中央市民病院循環器内科	許 俊鋭先生 赤阪 隆史 先生	心腔内エコー法の臨床応用 冠血流速計測の臨床応用

第21回	1997/6/7	共済会南風病院 大阪警察病院	皆越 真一 先生 石蔵 文信 先生	テーマ：ドップラー法による冠血流描出の試み ドップラー法による心筋内冠血流の描出とその意義 開心術中におけるパワードップラー法の臨床応用
第22回	1997/11/22	府中病院循環器内科 国立九州医療センター循環器部長	太田 剛弘 先生 小柳 左門 先生	テーマ：臨床心エコー図での新たな試み High Speed Volumetric Scanning (Real Time 3D エコー) 負荷心エコー法
第23回	1998/5/30			
第24回	1998/11/21	神戸市立中央市民病院 (有) キクダ ME コンサルタント	吉田 清 先生 菊田 憲二 先生	テーマ：臨床心エコー図での新たな試み M 側心エコー図の自動計測はどこまで可能か E 側心エコー図の自動計測はどこまで可能か
第25回	1999/5/29	世話人による誤診例呈示		
第26回	1999/11/27	兵庫県立姫路循環器病センター 循環器科 大阪大学医学部病態情報内科学	宝田 明 先生 増山 理 先生	心エコーで救急疾患をいかに診るか？ 経静脈心筋コントラストエコー法の実際
第27回	2000/5/20	パネルディスカッション		
第28回	2000/11/18	埼玉医科大学 第一外科	本間 博 先生	心臓外科手術における術中経食道心エコーの役割
第29回	2001/5/12	長野県立こども病院 循環器科	里見 元義 先生	先天性心疾患における超音波診断
第30回	2001/11/24	東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所 基礎循環器科	菅原 基晃 先生	新しい循環動態指標 ~Wave Intensity
第31回	2002/5/25	神戸市立中央市民病院 臨床検査技術部	八木 登志員 先生	冠動脈・バイパスグラフト血流の描出法
第32回	2002/11/30	北海道大学医学部循環病態内科学講座	山田 聡 先生	負荷エコー法について
第33回	2003/5/31	長野県立こども病院 循環器科	里見 元義 先生	先天性心疾患の区分診断法
第34回	2003/11/29	鹿児島大学第一内科	尾辻 豊 先生	虚血性帽弁逆流の機序と治療
第35回	2004/5/29	医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院 内科	伊藤 浩 先生	実践・3次元心エコー
第36回	2004/11/27	総合病院鹿児島生協病院 小児科部長	西島 信 先生	心臓の発生から考える先天性心疾患の心エコー (胎児エコーから成人まで)
第37回	2005/6/4	川崎医科大学 循環器内科	渡邊 望 先生	「僧帽弁逆流の心エコー図診断」
第38回	2005/11/26	国立循環器病センター 心臓血管内科	中谷 敏 先生	「面白いストレインエコー」
第39回	2006/5/20	長崎大学 循環病態制御外科学 講師	山近 史郎先生	「術中エコーから学ぶべきこと」
第40回	2006/11/25	関西電力病院 循環器内科 部長	石井 克尚先生	「心エコー図法を用いた Diastolic stunning の検出と臨床応用」
第41回	2007/5/26	産業医科大学 第2内科学 教授	尾辻 豊 先生	「心臓弁膜症診断の注意点」
第42回	2007/11/17	医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院 心臓・血管センター センター長	伊藤 浩 先生	循環器臨床における3次元心エコーの役割
第43回	2008/5/17	葉山ハートセンター	納富 雄一 先生	スペックルトラッキングエコーで表される untwist の拡張能への関わりと臨床への応用
第44回	2008/11/29	東京女子医科大学 循環器内科	石塚 尚子 先生	心臓内の異物・腫瘍

第45回	2009/5/30	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科	原 英彦 先生	世界におけるインターベンションの現状と非侵襲的検査との関わりについて
第46回	2009/11/21	東京大学 22 世紀医療センター大学院医学系研究科 重症心不全治療開発講座 特任教授	許 俊鋭 先生	重症心不全における非薬物療法 ～最新の人工心臓治療について～
第47回	2010/5/22	順天堂大学医学部 循環器内科 学講座准教授 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 東京女子医科大学 循環器内科 榊原記念病院 心臓血管外科 榊原記念病院 循環器内科 副部長	大門 雅夫 先生 宇野 漢成 先生 芦原 京美 先生 福井 寿啓 先生 井口 信雄 先生	『大動脈弁疾患について』 低心機能のASへの対応 Moderate ASの考え方 人工弁評価のポイント AS手術の困難さ CT・MRIとAS
第48回	2010/11/13	東京女子医科大学東医療センター 東京女子医科大学附属成人医学センター 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター	布田 伸一 先生 石塚 尚子 先生 宇野 漢成 先生	『シンポジウム～心移植～』 心移植後の管理について 心移植後の心エコー所見（総論） 心移植後の心エコー所見
第49回	2011/5/21	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 榊原記念病院 循環器内科	原 英彦 先生 渡邊 弘之 先生	ハイリスク重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル治療、 欧米におけるTAVIの現状 経カテーテル大動脈弁置換術における心エコー図の役割 ～術中・術後の観察ポイント～
第50回	2011/11/26	筑波大学 循環器内科 准教授 半蔵門病院	瀬尾 由広 先生 坂本 二哉 先生	左室非同期イメージングの進歩 東京心エコー図研究会の小史（第50回記念特別講演）
第51回	2012/5/18	神戸市立医療センター中央市民病院	岡田 行功 先生	心臓弁膜症における心エコー図の役割
第52回	2012/11/24	慶応義塾大学医学部	山岸 敬幸 先生	先天性心疾患の心エコー図に役立てたい臨床心臓発生学
第53回	2013/5/18	公立大学法人奈良県立医科大学附属病院	平井 都始子 先生	下肢動脈疾患の診療における超音波検査の意義
第54回	2013/11/30	筑波大学医学医療系	石津 智子先生	左室壁運動のミクロとマクロ
第55回	2014/5/24	社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院	西上 和宏先生	エコーで診る大動脈疾患
第56回	2014/11/29	大阪大学大学院医学系研究科	中谷 敏先生	SHD診療における心エコーの役割
第57回	2015/05/30	仙台厚生病院 心臓血管センター	松本 崇先生	MitraClip system：現在の適応と今後の僧帽弁治療
第58回	2015/11/21	徳島大学病院 循環器内科	楠瀬 賢也先生	右心機能評価5つのミステリー

第 59 回	2016/5/21	慶應義塾大学医学部 循環器内科	林田 健太郎先生	Structure Heart Disease intervention. Current status and future perspectives.
第 60 回	2016/11/19	心臓血管研究所付属病院 心臓血管外科	部長 國原 孝先生	大動脈弁形成術における心エコーの役割

当番幹事一覧

	当番世話人	所属施設名	開催日
第1回	中村 憲司 先生	東京女子医科大学心臓血圧研究所 循環器内科	1986/12/6
第2回	羽田 勝征 先生	J R 東京総合病院 循環器内科	1987/7/12
第3回	椎名 明 先生	自治医科大学 循環器内科	1987/12/5
第4回	平井 寛則 先生	東邦大学医学部付属大橋病院 第三内科	1988/4/10
第5回	許 俊鋭 先生	埼玉医科大学付属病院 第一外科	1988/12/10
第6回	小川 聡 先生	慶應義塾大学 呼吸循環器科	1989/5/13
第7回	高元 俊彦 先生	東京医科歯科大学 第二内科	1989/12/9
第8回	澤田 準 先生	心臓血管研究所付属病院	1990/5/12
第9回	竹中 克 先生	東京大学 第二内科	1990/12/1
第10回	里見 元義 先生	東京女子医科大学附属心臓血圧研究所	1991/5/25
第11回	高本 真一 先生	公立昭和病院 心臓外科	1991/11/30
第12回	林 輝美 先生	獨協医科大学越谷病院 循環器内科	1992/5/30
第13回	石光 敏行 先生	筑波大学付属病院 臨床医学系内科	1992/11/21
第14回	斎藤 彰博 先生	静岡県立こども病院 循環器科	1993/5/22
第15回	桑子 賢司 先生	帝京大学医学部付属溝口病院 第四内科	1994/6/4
第16回	田村 勤 先生	三井記念病院 循環器センター内科	1994/11/12
第17回	小澤 優樹 先生	昭和大学病院 第三内科	1995/5/20
第18回	大滝 英二 先生	榊原記念病院 循環器科	1995/11/18
第19回	赤石 誠 先生	慶應義塾大学 呼吸循環器科	1996/5/25
第20回	齋藤 穎 先生	日本大学医学部付属板橋病院 第二内科	1996/11/30
第21回	山口 徹 先生	東邦大学医学部付属大橋病院 第三内科	1997/6/7
第22回	伏島 堅二 先生	千葉県立鶴舞病院 循環器科	1997/11/22
第23回	一色 高明 先生	帝京大学医学部付属病院 内科	1998/5/30
第24回	高澤 謙二 先生	東京医科大学病院 第二内科	1998/11/21
第25回	竹中 克 先生	東京大学 中央検査部	1999/5/29
第26回	松村 誠 先生	埼玉医科大学付属病院 第一外科	1999/11/27
第27回	高田 博之 先生	多摩南部地域病院 循環器科	2000/5/20
第28回	本間 博 先生	日本医科大学付属病院 第一内科	2000/11/18
第29回	石塚 尚子 先生	東京女子医科大学附属心臓血圧研究所 循環器内科	2001/5/12
第30回	大川 真一郎 先生	東京女子医科大学附属第二病院 内科	2001/11/24
第31回	河合 祥雄 先生	順天堂大学医学部付属順天堂医院 循環器内科	2002/5/25
第32回	佐伯 文彦 先生	東芝病院 内科	2002/11/30

第33回	中村 憲司 先生	東京女子医科大成人医学センター 循環器科	2003/5/31
第34回	羽田 勝征 先生	J R 東京総合病院 循環器内科	2003/11/29
第35回	原 和弘 先生	三井記念病院 循環器内科	2004/5/29
第36回	富松 宏文 先生	東京女子医科大学 循環器小児科	2004/11/27
第37回	宮崎 彰 先生	千葉県循環器病センター 循環器内科	2004/6/4
第38回	鈴木 真事 先生	東邦大学医療センター大森病院 循環器内科	2005/11/26
第39回	岩永 史郎 先生	慶應義塾大学 循環器内科	2006/5/20
第40回	原田 昌彦 先生	東邦大学医療センター大森病院 臨床生理機能検査部	2006/11/25
第41回	高橋 利之 先生	JR 東京総合病院 循環器内科	2007/5/26
第42回	笠巻 祐二 先生	日本大学医学部 内科学講座循環器内科部門	2007/11/17
第43回	芝田 貴裕 先生	東京慈恵会医科大学附属第三病院 循環器内科	2008/5/17
第44回	田村 徹太郎 先生	国立がんセンター中央病院 生理検査室 循環器グループ	2008/11/29
第45回	中島 啓喜 先生	三井記念病院 循環器内科	2009/5/30
第46回	坂田 好美 先生	杏林大学医学部 第二内科	2009/11/21
第47回	渡邊 弘之 先生	榊原記念病院 循環器内科	2010/5/22
第48回	布田 伸一 先生	東京女子医科大学東医療センター	2010/11/13
第49回	田中 信大 先生	東京医科大学 循環器内科	2011/5/21
第50回	川井 真 先生	東京慈恵会医科大学 循環器内科	2011/11/26
第51回	宇野 漢成 先生	東京大学医学部附属病院 コンピューター画像診断学・予防医学講座	2012/5/19
第52回	芦原 京美 先生	東京女子医科大学 循環器内科	2012/11/24
第53回	金田 智 先生	東京都済生会中央病院 放射線科	2013/5/18
第54回	上田 宏昭 先生	等々力診療所	2013/11/30
第55回	横山 直之 先生	帝京大学医学部附属病院 循環器内科	2014/5/24
第56回	喜納 峰子 先生	東京医科大学八王子医療センター 循環器内科	2014/11/29
第57回	茅野 博行 先生	昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門	2015/05/30
第58回	大門 雅夫 先生	東京大学医学部附属病院 検査部	2015/11/21
第59回	村田 光繁 先生	慶應義塾大学医学部	2016/5/21
第60回	浅川 雅子 先生	JR 東京総合病院 循環器内科	2016/11/19

※開催当時の所属施設を記載しております